

WORKSHOP PHOTO



岐阜県土岐市
新庁舎建設
プロジェクト
**WORKSHOP
REPORT**
2016.6.1



基本設計の完成に向けて、全3回のワークショップを市民の方と一緒に実施しました。
第1回目は市民ゾーンの使い方を中心に、より具体的な活動のあり方を考えました。

Day 1

初回は昨年度のワークショップのふりかえりからスタートしました。前回のワークショップの内容を踏まえ、今回はより具体的に市民ゾーンのあり方を考えていきます。ふりかえりの後アイスブレイクゲームをし、その後ワークに取り組みました。ワークでは、土岐に住んでいる方の生活を想定し、その方がどのように新しい庁舎と関わるかをシミュレーションし、まとめていきました。

PROGRAM 1

13:30～

昨年度のふりかえり

今回から初めて参加される方もいらっしゃるため、昨年度の内容をまとめたニュースレターを用い、話し合った内容について共有しました。自分たちが使いやすい庁舎をつくるため、少しずつ話し合いを重ねてきました。



ニュースレターを配布し、説明



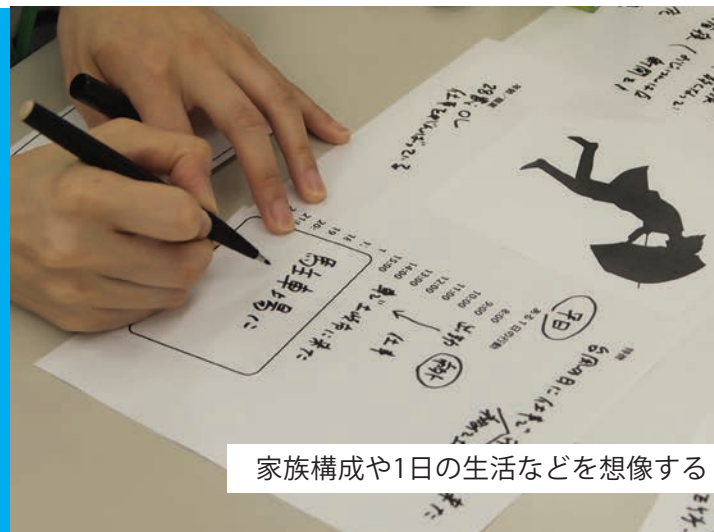
番号に合わせ、相手の身体を指差していく

PROGRAM 2

13:45～

指差しゲーム

話し合いを始める前にゲームに取り組みました。身体の一部に番号をつけ、進行役が言った番号の部位を指差していきます。はじめは自分の身体を、慣れてきたら周りの方の身体を指差していきます。



家族構成や1日の生活などを想像する

PROGRAM 3

13:55～

ワーク いろいろな土岐人を想像しよう

土岐に住む方はどのように新しい市庁舎を使ってくれそうかを考えるため、まずは土岐に住むいろいろな方の生活を想像することから始めました。進行役の用意したツールを用い、土岐人の生活を紙にまとめていきました。

PROGRAM 4

14:25～

ワーク

「生活」を新庁舎のゾーンに落とし込もう

新しい市庁舎のゾーニング図を用いて、先ほどつくった土岐人の生活を貼り込んでいきます。



先ほど考えた土岐人は、
市庁舎周辺でどんな生活をするだろう？

市民
ゾーン

広場
ゾーン

文化
プラザ

など



チームに分かれて各テーマについて議論を深める

PROGRAM 5

15:15～

発表・共有

各チーム毎にワークで検討した内容を模造紙を使って美しくまとめ、その後お互いに内容を発表しました。



模造紙にワークの結果をまとめていく